研究テーマ	Web サイト運用に関する研究 〜第1報:Web サイト運用の明確化〜
学 生 名	山崎歩惟

1. 緒言

Web サイトは企業や店舗にとって、新たな顧客獲得や諸費・サービスの販売を増やすための重要なファクターと成り得る可能性を秘めている.これは、企業に限ったことではなく、学校やクラブにも当てはまることである.しかし、個人に権限が委ねられている研究室や部活については、十分な管理がされていないのが現状である.

本研究では、この問題を解決するために Web サイト運用の明確化を行う.

2. Web サイトの運用マネージメント

2.1 Web サイト運用の基本方針

Web サイトの運用は、継続的な更新を行いながら、時代のニーズにあった Web サイトを構築していくことが重要となる。そこで、本 Web サイトにおいては、PDCA を用いた継続的な更新を実現する。

2.2 PDCA を用いたサイト運用

最初から大きな規模でサイトの構築を行った場合,情報が煩雑となる上,更新が滞る恐れがあるため,適用ユーザは重要なユーザから順に実装していき PDCA を実現する(1).

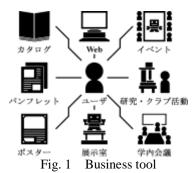
3. Web サイトの方針

Web サイトの方針を決める上で,以下の 5 つを 明確化する必要がある.

- 組織目標
- 運用方針
- ・Web サイトの役割
- ・ターゲットユーザ
- ・Web サイトの目的

本研究室およびロボット製作部のビジネスツールを **Figure 1** に示す. 今回は,ターゲットユーザを以下の 3 つに限定する. なお,組織目標等について本年度の二宮綾香の論文にて述べているため,ここでは割愛する.

- ・研究室選びのための弓削商船情報工学科 4 年生及び電子機械工学科 4 年生
- ・新入部員獲得のための新入生
- ・広報を兼ねた情報交換のための外部ロボコン参加チーム



4. ユーザニーズの明確化

3 のターゲットユーザを基にユーザニーズの明確化を行い,以下の3つの作業を行った.

- ・適用ユーザの範囲確定
- ・ユーザ導線の明確化
- ・制作コンテンツの確定

5. Web サイトの構築

4 の制作コンテンツを基に、Web サイトの設計、 ユーザ導線の検証を経て、レンタルサーバを設置し、 コンテンツを実装した(**Figure 2**).



Fig. 2 Example of a website

6. 結言

本研究では、Web サイトの運用を明確化し、ロボット製作部のWeb サイトを構築した. 今後は、PDCAによるWeb サイトの運用を行うとともに、研究室のWeb サイトも設計していく予定である.

文献

(1) 生田昌弘,上地安親,斉藤千寿,アクセス解析からはじめる Web サイト運用成功の法則,ソフトバンククリエイティブ株式会社,pp.1-115